

平成30年度 活動内容

項 目	対 策
1. 固縛方法の徹底	ア) 協力会社には、固縛の状態を写真に撮りメールで染常運送店のパソコンに送ってもらい確認をする。 イ) JFE鋼板(株)千葉工場でのパトロール(見回りチェック)を月一回行う。 ウ) 協力会社が行く場合には固縛の教育を終了してからの入場とする。 又は、染常運送店の立会いを付ける。
2. 構内ルールの徹底	ア) 安全会議での構内ルールの再教育 イ) 協力会社の場合には構内ルールの教育を終了してからの入場とする。 又は、染常運送店の立会いを付ける。
3. バック入場での 後方確認の徹底	ア) 安全会議でのバックの仕方等の再教育 イ) お客様毎の構内マップ作成及び、ドライバー同士での情報の共有化の徹底 ウ) バックモニター(弊社装着率100%)での確認及び、目視での確認を徹底する。 エ) 協力会社にはお客様の構内マップを配布
4. 積み込み時の チェック方法の徹底	ア) 安全会議でのチェック方法の再教育 イ) チェックシートでの確認及び、提出の徹底 ウ) 協力会社の場合には教育をしてからの入場、もしくは染常運送店の立会いを付ける。
5. 指定納入時間 遅延防止の徹底	ア) 安全会議での納入時間厳守の再教育 イ) 運行管理者とドライバーとの連絡方法の徹底 ウ) 協力会社の場合には責任者同士の連絡方法の徹底
6. スピード違反 防止の徹底	ア) 安全会議での速度に関する危険性の再教育 イ) ドライブレコーダーでの定期的チェック(弊社装着率100%) ウ) 協力会社には安全会議での走行の仕方についての再教育の徹底
7. 過積載防止の徹底	ア) 安全会議での過積載の危険性の再教育 イ) 各車両の最大積載量の把握 ウ) 協力会社には車検証のコピーの提出
8. 熱中症対策の徹底	ア) 安全会議での熱中症対策の再教育 イ) 協力会社の場合にはどのような対策をとったかを確認する
9. 誤納入防止の徹底	ア) 安全会議での送り状のチェック方法の再教育 イ) 協力会社の場合には積み込み終了後、ドライバーが弊社運行管理者へ連絡を入れ確認をする。